

01 教会ニュース

「愛と夢を食べて育ちま〜す」

マンミン宣教園と教会学校の子ども・中高生部の希望の星が霊的に成長して、夢とビジョンを育てられる英才教育が進められている。

02 いのちのみことば

神の愛を刻む者

ひとり子を与えて天国の場所を備えられた神の愛と、十字架を負ってまことのいのちを下された主の愛を心に刻もう。

03 企画特集

祝福される秘訣

神が下さるまことの祝福をいただくとするならどうすればよいか、三つの分野で調べてみる。

支教会10月スケジュール

04 証し

力あるわざ、力ある働き

まことの牧者に出会ったというロシアのオシポフ牧師と、神の力ある祈りで羊水が満たされて安産した韓国のキム・チェリン執事の証し。

万民ニュース

第143号 2014. 9. 28.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7042

www.manmin.org

主にあって夢とビジョンを育ててくれる英才教育

マンミン宣教園の特別教育プログラム、教会学校中高生部の夏休み特講



万民中央教会で乳幼児と子どものための教育プログラムが新たに開発された。今年7月7日からマンミン宣教園では芸能委員会と連携して特別教育プログラムを進めている。

マンミン宣教園の院長ファン・ジェヒ伝道師と子ども教会学校の校長キム・ヒョンジン伝道師が導く「どんどん入るおもしろ聖書」をはじめ、グローバル人材養成のための「Musical English」「Hello English」「ニーハオ中国語」、音楽的才能を育てる「ピンボンパン・ピアノ」「リリー・バイオリン」「打楽器学習」がある。この他にも「ヤアッ・テコンドー」「楽しいお遊戯」等、中身の濃いプログラムは子どもたちと保護者に大好評だ。

チェ・オリンちゃん(7)は「私が好きなものがとても多いんですが、宣教園で全部教えてくれてうれしいです。中でもテコンドーとバイオリンが一番好きです。宣教園に行く時間が待ちどおしくて、今は朝ひとりで起きて、胴着も自分でバッグに入れます」と言った。

マンミン宣教園に子どもを通わせるためにスウォンからソウルに引越したというキム・ソヨン執事(48)は「あれこれ教えなければならぬことは多いのですが、レッスン代も無視できないでしょう。でもマンミン宣教園にいろいろなプログラムがあるので、悩まなくてよくなりました。子どもが家に帰ってくると、宣教園で習った体操や英語を披露しながら喜んでいて、私が教えてあげなかったのに、宣教園で

字や算数はもちろん人格教育まで教えてもらって帰ってくるから、とてもありがたいです。私ならこんなふうによく教えられなかったでしょうが、本当に感謝です」と語った。

また、中高生のためのプログラムも新しくなった。今年7月25日から8月14日まで「夏休み特講」があったが、既存の英語、数学の他にも自己主導型学習、進路適性、料理、メンタリング、美容、GCN放送探訪などが新設された。

中高生部の校長イ・ジェジョン伝道師は「環境も、趣味も、才能も、個性もそれぞれの中高生の姿を見て、自分に合う進路を早く見つけて、あちこちで神様に栄光を帰す働き人になってくれればと願いつつより多様な講座を開設しました。中高生にも好評です」と述べた。

子ども教材『出発!美しい天国への旅』発刊

この地上で最も美しくうっとりするほど幸せなものを想像するとしても、水晶のように澄んで美しい天国とは比較できない。希望の星の子どもたちに不可能を可能にする宝のような信仰と美しい天国の望みを植えつけられるならば、どんなに良いだろうか。

<<<

小学生のためのイ・ジェロク牧師のジュニア・バイブル・スタディ四冊目『出発!美しい天国への旅』が8月22日に発刊された。この本は「知るほど見えてくる天国」「天国の環境と暮らし」「天国の場所と冠」の計3パートで構成されている。

天国にはどんな人が行けるのか、天国の娯楽と交通手段は何か、子どもたちの疑問をすっきり解決してくれる。また、グラビアで見る「カシャッ!天国の海の中、季節の園、遊園地」等とともに、光り輝く新しいエルサレムのイラストは天国を心で描かせてくれる。天国で愛する子どもたちと永遠にともにいる日を指折り数えて待つおられる神様と主の愛を植えつけるだろう。

<<<

また、青少年教育に深い関心を持っているイ・ジェロク牧師は中高生のための「青少年バイブル・スタディ」の他にも、未就学児童のための「キッズ・バイブル・スタディ」をシリーズで発刊している。



神の愛を刻む者



堂会長イ・ジェロク牧師

「私たちは、私たちに對する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛のうちにいる者は神のうちにあり、神もその人のうちにおられます。」
(第一ヨハネ4:16)

第二次世界大戦が終わる頃、ドイツのあるユダヤ人収容所に連合軍が進撃して入った。必死に生存者を探してみたが、すでに収容者はみなガス室の中で冷たい死体になっていた。ところで、見回っていたある軍人が壁の片隅に書かれている字を偶然に発見して、思わず身を正した。

「妙なる神の愛、言葉に尽くせず…空を白き紙と海を墨とせど、尽くせぬ神の愛、すべては書きえず」誰が書いたのかはわからないが、強制労働と飢えに苦しめられていたある収監者が書いたものだろう。同僚が一人一人死んでいき、希望の見つけられないむごい日々を送りながらも、その人が壁に書いたのは神の愛への感謝だった。

私たちが神の愛を心に刻む者になり、どんな瞬間や状況でも、神の愛を心から告白して確信できるためには、具体的にどうすればよいだろうか？

1. ひとり子をお与えになった神の愛を覚えなければならない

<ヨハネ3:16>に「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛

された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」とある。創造主なる神、この上なく栄えある神がこの世を非常に愛された。罪と不法に落ちて死へと向かっている人の子らを憐れみ、結局ひとり子まで渡してくださった。

子どもを生んで育てたことのある親なら、少しでもその痛みを感じられるだろう。目に入れても痛くないほどの息子を死地に追いやる人がいるだろうか？ 大きい富と栄華を味わわせて、どんな願いでも聞いてあげるから、あなたの息子を十字架につけさせなさいと言われるなら、はたしてできるだろうか？ 息子を愛する親ならば、決してできないだろう。

しかも「殺人の罪を犯した死刑囚の代わりに息子を渡しなさい」と言われたなら、ほとんどが「とんでもない」と言うだろう。その「とんでもない」ことを神はなさった。憎しみ、憤り、姦淫、ねたみ、そねみ、放蕩などのような罪によって醜く汚れている私たちの代わりに、残酷な処刑にあわせるまで神の御子を渡してくださったのである。御子が息を引き取られた瞬間、神が受けられた苦しみは太陽さえ光を失わせた。地は揺れ動き、岩は裂けるほどだった。

そのような悲しみをこらえて御子を渡し、罪人であった私たちにはいのちをお与えになったのだ。それで、あえて私たちの口で創造主の神を父と呼ぶようにされたのである。私たちはこの愛を決して忘れてはならない。皆さんの心に刻んではまた刻み、永遠に感謝の賛美をささげようお願いします。

2. まことのいのちを下された主の愛を覚えなければならない

神が世を救おうとされても、もし主が従われなかったなら、私たちは救われなかっただろう。栄光に輝いておられた創造主なる神のひとり子が、天の栄光をすべて捨てて、低く卑しい人の子らの姿でこの地上に来られたことも、途方もない犠牲である。そのようなイエス様を、被造物である人々がつばきをかけ、あざけてむち打ち、結局十字架につけたのだ。

罪と悪に染まった人の子らを主が愛されなかったなら、直ちに天から火を下すことも、天の軍勢を遣わして聖絶する

こともおできになった。しかし、イエス様は人の子らを愛された父なる神のお心を知っておられたので、世の罪を負って贖いの供え物になろうと、すべての苦しみを喜んで受けられた。

イエス様が貧しくなられたことにより、私たちが富む者にしてください、その打ち傷のゆえに私たちはいやされた。イエス様がいばらの冠をかぶられたことで私たちは天国の良い冠を得るようになり、手と足に釘を打たれて血を注ぎ出されることによって私たちは罪の赦しを得た。主が十字架で人の子らをご覧になっていたその血まみれのお顔と愛のまなざしを、いつも心にしまっておくようお願いします。

3. 天国の場所を備えられた神の愛を覚えなければならない

私たちが救って地獄から救い出してくださいただ感謝なのに、これに加えて神は輝く天国の場所を備えておられる。まことに神の愛と主の愛を信じて真理に歩んでいるとき、その行いに応じて天国の住まいが建てられるのである。

それでは、私たちがこの愛を信じて真理に歩んでいるとは、どんなことだろうか？ それは人の子の肉を食べ、その血を飲むことである。<ヨハネ6:54>には「わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠のいのちを持っています。わたしは終わりの日にその人をよみがえらせます。」とある。

人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、その中にいのちがなく、復活の希望もない。靈的に「人の子の肉を食べる」とは「神のことばを糧とすること」を意味する。これは聖書のみことばを知識的にだけ知っているのではなく、心を変えさせること、すなわち、悪を捨てて善と愛で満たすことである。

このように人の子の肉を食べるためには、必ず人の子の血と一緒に飲まなければならない。これはみことばを学ぶと同時に、そのみことばに従う行いが必ず伴わなければならないということである。

たとえば、人が何かを食べるとき、水分と一緒に供給されてこそ体が栄養分を吸収して、老廃物を排泄できる。同じように、真理、すなわち、神のことばを学んだなら、必ずそのとおりに行う努力

がなければならない。それでこそ学んだみことばが自分にとっていのちと力になり、心にあった真理に逆らうものがだんだん抜けて行き、そこには真理が満たされるのである。

<第一ヨハネ1:7>を見ても、人の子の肉を食べるだけでなく、その血を飲んでこそ、私たちの中にいのちがあることがわかる。「しかし、もし神が光の中におられるように、私たちも光の中を歩んでいるなら、私たちは互いに交わりを保ち、御子イエスの血はすべての罪から私たちにきよめます。」とあるのだ。ここで「光の中を歩んでいる」とは、「神のことばに従って行うこと」である。イエス様は尊い血を注ぎ出して私たちの罪を贖ってくださったが、その血の力によって罪を赦していただくためには、必ず私たちが光の中を歩んでいなければならないということなのだ。

ある人は自分の願いどおりに答えられなかったとき、あるいは信仰のゆえ迫害されたとき、「神様は私を愛しておられないようだ」とつぶやいたりする。こんな愚かなことを言う方が決していないようお願いする。

神は私たちが神の子どもとしようと、ひとり子を犠牲にまでなされた。その御子の血で買い取った子どもたちが真理のうちにとどまるとき、主の御名によって求めることは、どんなことでも答えてくださる。たましいに幸いを得ている人は誰でも、すべての点に幸いを得、健康であるように祝福なさる。主は父なる神の愛を知っておられるので、喜んでいのちを下され、天国で私たちの住まいを建てておられる。やがて天国でまことの子どもたちと永遠の愛を分かち合う日を待ち焦がれておられるのだ。

愛する聖徒の皆さん、神の愛を悟った人は世に目を向けない。イエス様が自分の罪のゆえ十字架につけられたのに、どうして再び罪を犯せるだろうか。また、天国の栄光を信じているのに、どうして世のものに欲を持つだろうか。

その大いなる神の愛を覚えて、心と思いとまことといのちを尽くして神を愛するようお願いする。それで、やがて最も栄えある天国の新しいエルサレムで、その愛を永遠に分かち合えるように、主の御名によって祈る。

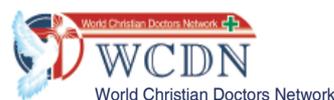


Manmin Central Church

Tel: 82-2-818-7042, 7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: jujinkyung@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcnetv.org
e-mail: webmaster@gcnetv.org



Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
編集者: ビン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
www.manminnews.com
編集発行: 万民中央教会
〒152-848 韓国ソウル市ク区デジタル路26キル29
TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048

愛と公義のうちに 施される神の祝福

申命記28章を読めば、神が下さる祝福をいただくための確かな方法が提示されているし、祝福されるような器が備えられたとき、どんな祝福が臨むのかについても知ることができる。

神が下さる祝福をいただくための三つの条件、すなわち、みことばと命令、従順、信仰の分野を調べてみて「はたして私は祝福の器を備えたのか」チェックしてみよう。

第一の条件 「みことばと命令」

「もし、あなたが、あなたの神、【主】の御声によく聞き従い、私が、きょう、あなたに命じる主のすべての命令を守り行なうなら、あなたの神、【主】は、地のすべての国々の上にあなたを高くあげられよう。」
(申命記28:1)

まず「神、【主】の御声」とは、聖書66巻のみことばのことを言う。聖書はすべて、神の靈感によるもので、人が思いのままに記したのではなく、聖霊に動かされた人たちが、神からのことばを記したものである(第二テモテ3:16、第二ペテロ1:21)。

また、聖書には「【主】の御告げ」という聖句がたくさんある。これは、聖書が神のみことばと望んでおられることを込めた神のことばであることを確かに表していること、ただ耳で聞くことで終わるのでなく、それによく従うべきだという意味なのだ。信仰は聞くことから始まるとある

ので、みことばをいつも近くにおいて、熱心に読んで聞いて口ずさまなければならない。ここで大切なのは、みことばを武具として身につけて、心に糧としながら直ちに行っていくなければならないということである。

次に「命令」とは、神ご自身が何々をしなさいと命じられたものを言う。代表として十戒が挙げられる。

「命令」という単語からある程度の強制性が感じられるように、命令とは、してもよいし、しなくてもよいのではなく、必ずしなければならないことだ。しかも万軍の【主】、神の

命令であるから、必ず守らなければならないのだ。

神の命令はほとんど人生の生死禍福と直接関連のあるもので、救いとかかわる。ところで、神の命令は守ろうとする心さえあれば、守りにくいものではない。その中に込められた父なる神の愛を感じるのだから、神のことばを守り行えば喜ぶようになる。

まことに私たちの幸せのために下さった神の命令(申命記10:13)であることを悟り、自分から進んで喜びをもって行なうならば、このような人は祝福の器を備えたので、備えられた祝福を思いきりいただける。

第二の条件 「まことの従順」

「あなたがあなたの神、【主】の御声に聞き従うので、次のすべての祝福があなたに臨み、あなたは祝福される。」
(申命記28:2)

まことの意味での従順とは、現在の状況では行えないこと、すなわち、現実を見れば行えないことを信仰の目で望んで行くことである。

言い換えれば、できることを行う次元でなく、できないことを信仰によって行う次元だ。人間の常識や知識と思弁に合わなくて、思いを働かせればとうてい従えないこと、まさにこのようなことに信仰によって

従う時こそ、まことの従順と言える。

人のほうから見て従えないようなことでも、神のほうからご覧になれば従えないことでは決してない。自分がするのは、万軍の主、神がなさることなので、自分が信じて従う時はできないことがないのだ(マルコ9:23)。ひょっとして「自分の思いと少しだけ合わなくても、自分

の利益に少しだけ合わなくても、自分の計画と少しだけ合わなくても」聞き従わなかったのではないか、チェックしてみよう。

<イザヤ1:19>に「もし喜んで聞こうとするなら、あなたがたは、この国の良い物を食べることができるとあるとおり、喜んで聞くと、この地上でも豊かな祝福をいただける。

第三の条件 「神のことばを信じること」

「神は人間ではなく、偽りを言うことがない。人の子ではなく、悔いることがない。神は言われたことを、なさないだろうか。約束されたことを成し遂げられないだろうか。」
(民数記23:19)

神のことばは必ず成し遂げられる(イザヤ55:10-11)。私たちが神を信じるといことは、神のことばを完全に信じることである。これは、そのみことばが神の計画と摂理にあつてみこころどおり成就されることを100%信じることである。

神のことばを自分が見て良いように考えて、自分の基準に合わせてはいけない。人の思いと神のみ思いとは異なるからだ(イザヤ55:8-9)。神のことばが当座は自分の思いと異なって、別の方向へ進んでいるように見

えても、最後まで信仰によって進むとき、神は最も良い時にすべてのことを働かせて益としてくださる。

一般的に、多くの人が自分の思ったとおり、自分のやり方で、自分が思った時に事がなされなければ、神に対する信仰が揺らぐ。神のことばへの信頼が揺れ動くのだ。これは疑って二心のある者であり、神はこういう人は答えをいただけるとは思っていないと言われる(ヤコブ1:6-8)。

神がアブラハムに子孫を約束されたとき、直ちに実現されたのではない

く、長い年月が過ぎて、神の御目に最もふさわしい時に実現された。アブラハムは約束のみことばを最後まで信じたので、約束の種であるイサクを得ることができたのだ。

このように、そのみことばが成し遂げられる時まで、変わりなく信じるのが大切である。事業をする時も、信じてゆだねたら、自分の目に良いとおりに決定してはならない。神の御目に最も良い時を求めて、答えを下さるまで待たなければならない。

10月支教会スケジュール

10月22日(水)	松本万民教会	権能いやし聖会(講師:伊藤時子牧師)	10月26日(日)	東京万民教会	権能いやし聖会(講師:崔ビョンラン牧師)
10月25日(土)	名古屋万民教会	癒しの集い(講師:時國みや子牧師)	10月26日(日)	東京田端万民教会	特別いやし集會(講師:鄭庚泰牧師)
10月26日(日)	沖縄万民教会	権能いやし聖会(講師:山下好美牧師)	10月29日(水)	飯田万民教会	権能いやし聖会(講師:柳承吉牧師)

「まことの牧者の手本である堂会長先生、尊敬しています！」

私は海軍将校の時に主を受け入れた後、牧会者の道を歩むようになりました。

「2003年ロシア連合大聖会」を通して講師イ・ジェロク牧師先生に出会った後は、ロシア・キリスト教界の停滞を打ち破る方法は「聖潔の福音と神の力あるわざ」だけだということを知りました。それで万民中央教会の支教会に加入して、2007年3月にはロシア宣教師として派遣され、2008年からはイエス・キリスト・ロシア連合聖潔会総会長として働いています。

今年6月には万民中央教会の教職者会長イ・スジン牧師先生を講師に、サンクトペテルブルグで「ハンカチ集会および牧会者セミナー」を開催しました。これはロシアの牧会者が一つになるきっかけになりました。

私は大いに恵みを受けた二人の牧師先生と一緒に8月初め、韓国を訪問して「2014年マンミン夏のキャンプ」に参加しました。

キャンプを通して、私は霊的に尊敬する人に学ぶことについて深く悟りました。ロシアで堂会長イ・ジェロク牧師先生のメッセージをインターネットや著書で聞いたり読んだりしていたつもりでしたが、実際に来てみて、聞いたことは大きい違いがあるということをやっと悟ったのです。

神様は教育といやしの集会、体育大会、キャンプファイヤーだけでなく、キャンプの期間中ずっと聖霊の働きによって多くの恵みを注いでくださいました。特にキャンプファイヤーの時、イ・ジェロク先生が心

尽くして賛美され、聖徒たちに最も美しい天国、新しいエルサレムへの望みを満たして抱かせる姿に大いに感動しました。まことの牧者の姿を心に刻んで、私も聖徒に天国の望みを植えつける真実の牧者になろうと心を固めました。

罪と悪がはびこった世代に、力強い聖潔の福音と神の力あるわざで全世界に神の愛を現して、みことばを確かなものとしておられるイ・ジェロク先生を尊敬しています。

私は尊い聖潔の福音とマンミンの働きをロシアとロシア語圏の国々に伝えるビジョンを持って、祈りながら働きを広げています。三位一体の神の愛を伝える全き道具になりたいです。ハレルヤ！



ウラジミール・オシポフ牧師
(イエス・キリスト・ロシア連合聖潔会総会長)

「早期羊膜破裂で羊水が出てしまったのですが神の力ある祈りを受けて健康な男の子を産みました」

キム・チェリン執事(1大大1教区、32歳)

今年4月2日の夕方、妊娠中の私からだから何かの流れ出てきました。ただ事ではなくて、翌朝早く病院に行ったところ、お医者さんは「早期羊膜破裂」だと言いました。

「羊水が全部出てしまいました。どうしてあげることもできません。ご主人と相談してみてください。」

羊水は子宮の羊膜の中にある液体で、胎児の発育を助け、出産する時に流れ出て分娩を楽にしてくれます。ところが、妊娠19週目に羊水が全部出てしまったので、胎児に異常なく妊娠を続けるのは不可能だったのです。

でも私は何も心配しませんでした。妊娠10週の時、堂会長イ・ジェロク牧師先生に祈りを受けたからです。ただ、なぜこんな事が起こったのか探り窮めながら、神様に栄光を帰すことだけを考えました。芸能委員会委員長イ・ヒジン牧師先生にこの状況をお話したところ、私たち夫婦と両方の家族が十分の一献金をことごとくささげると主日を完全に守っているのか顧みるように、とアドバイスしてくださいました。

私たちが結婚したとき、嫁ぎ先で家を借りてくれたのですが、その当時まとまったお金がなくて、後でその保証金に対する十分の一献金をしようと思っていました。ところが3年間、このことを忘れていたことが思い出されたのです。神様の前に悔い改めた後、直ちに十分の一献金と和解の献金をささげました。ちょうど引越しのために用意しておいたお金がありました。また、私は神様の前に感謝献金をいやいやながらささげていたことも悔い改めて、両方の家族も主日を完全に守って十分の一献金をことごとくささげることに関して、徹底的に顧みて悔い改めました。

ちょうど妊娠21週の時、祈りの家から帰ってこられた堂会長先生にお話ししたところ、「羊水も満たされて、胎児にも何の異常もなくよく育つように守ってください」と祈ってくださいました。妊娠22週、23週まで三度、堂会長先生の祈りを受けました。すると羊水が少しずつたまって、胎児の口のほうに最小限の羊水が満たされました。

私は妊娠23週から29週まで集中治療室にいました。病院で初めは、羊水が少ししかないから胎児が危険だと誘発分娩を勧めましたが、祈りを受けた後は変わりました。胎児が健康に育って、胎動も活発になり、お医者さんたちも不思議だ、珍しいことだと驚きました。

特に、私のように19週で羊水が出てしまっても、堂会長先生の祈りで守られて健康な女の子を出産した、うちの教会のイ・ヒョンジョン執事さんが娘さんと一緒に訪ねてこられ、「執事さんも私のようにこのように健康な赤ちゃんを出産するでしょうから、喜んで信仰によって勝利してください」と励ましてくださいました。

ついに妊娠33週になった今年7月9日、健康な男の子を安産しました。聖霊様の心に似せられるようにという心を込めて名前を「ソナム」とつけました。現在、母子ともに何の異常もなく健康に過ごしています。

羊水過小症から出産に至るまで、約100日間、神様の細やかな愛を体験しながら、私の信仰は新たにされました。神様の前にささげる礼拝と祈りが変わり、何より父なる神様の愛を感じながら幸せな信仰生活をしています。すべてのことを働かせて益としてくださった三位一体の神様に感謝と栄光をお帰しします。



胎児の姿が見えるが、周りに羊水がほとんど見られない(妊娠30週、2014.6.23)。

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

・イエス・キリスト飯田万民教会

〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>

・名古屋万民教会

〒465-0014 名古屋市長東区上菅 1-916
T) 052-774-8874

・イエス・キリスト山形万民教会

〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771

・イエス・キリスト別府万民教会

〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

・イエス・キリスト大阪万民教会

〒591-8023 大阪府堺市中百舌鳥町 5-775-15
T) 072-220-5289
<http://www.osmanmin.com/>

・イエス・キリスト旭川万民教会

〒071-8144 北海道旭川市春光台4条3丁目 11-23
T) 0166-53-0652

・イエス・キリスト東京田端万民教会

〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>

・イエス・キリスト松本万民教会

〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003

・イエス・キリスト舞鶴万民教会

〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>

・岡山万民教会

〒706-0002 岡山県玉野市築港1丁目7-26
T) 0867-72-7276

・イエス・キリスト東京万民教会

(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740

・イエス・キリスト沖縄万民教会

〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-10 サンライフ米須301号
T) 098-988-9472